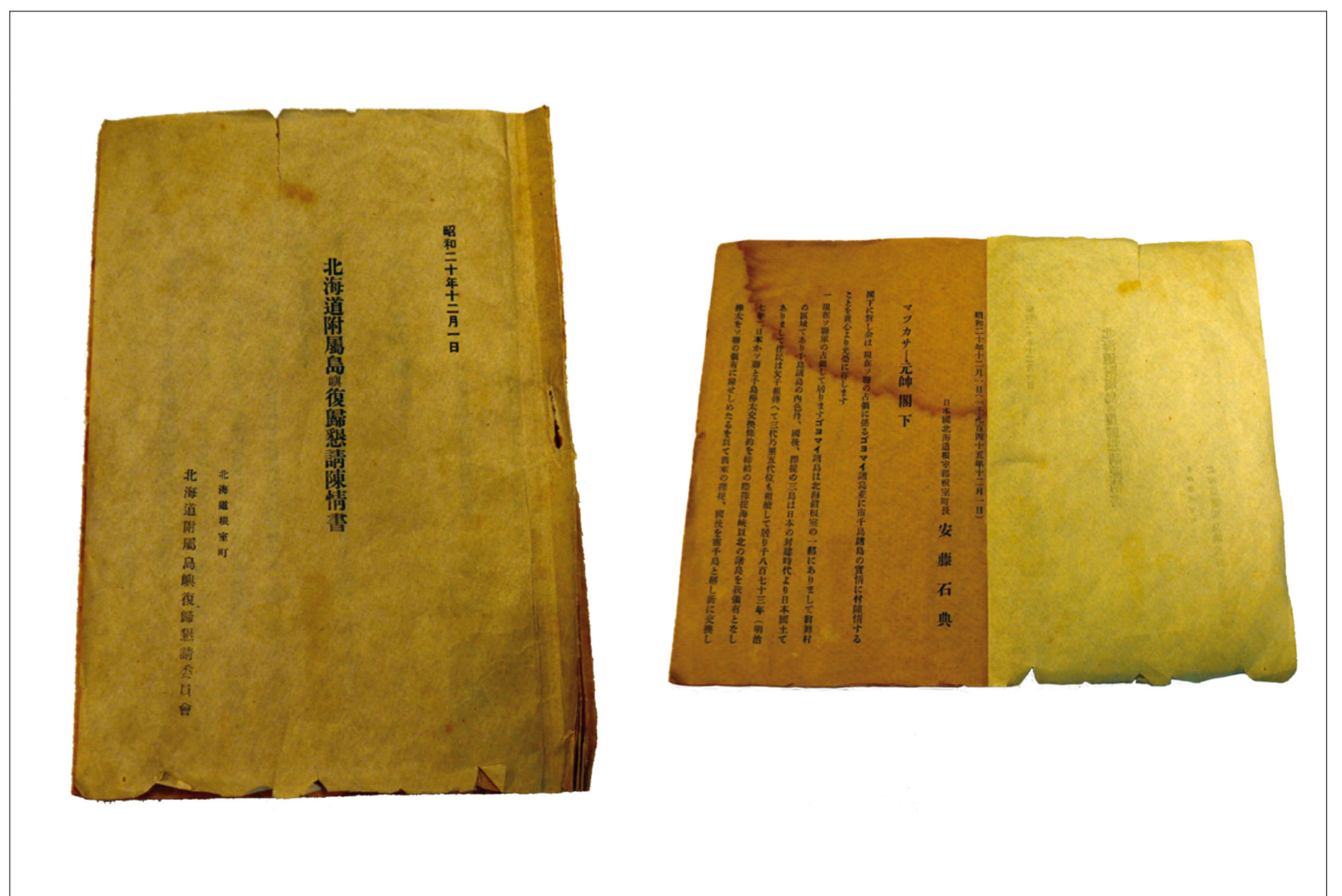


# 北方領土返還要求運動のはじまり

1945年（昭和20年）の終戦時、北方四島には17,291人の日本人が暮らしていましたが、ソ連（いまのロシア）による不法占拠により、日本人は次々に四島を脱出・追われ、安住の地を求めて多くは根室へやってきました。

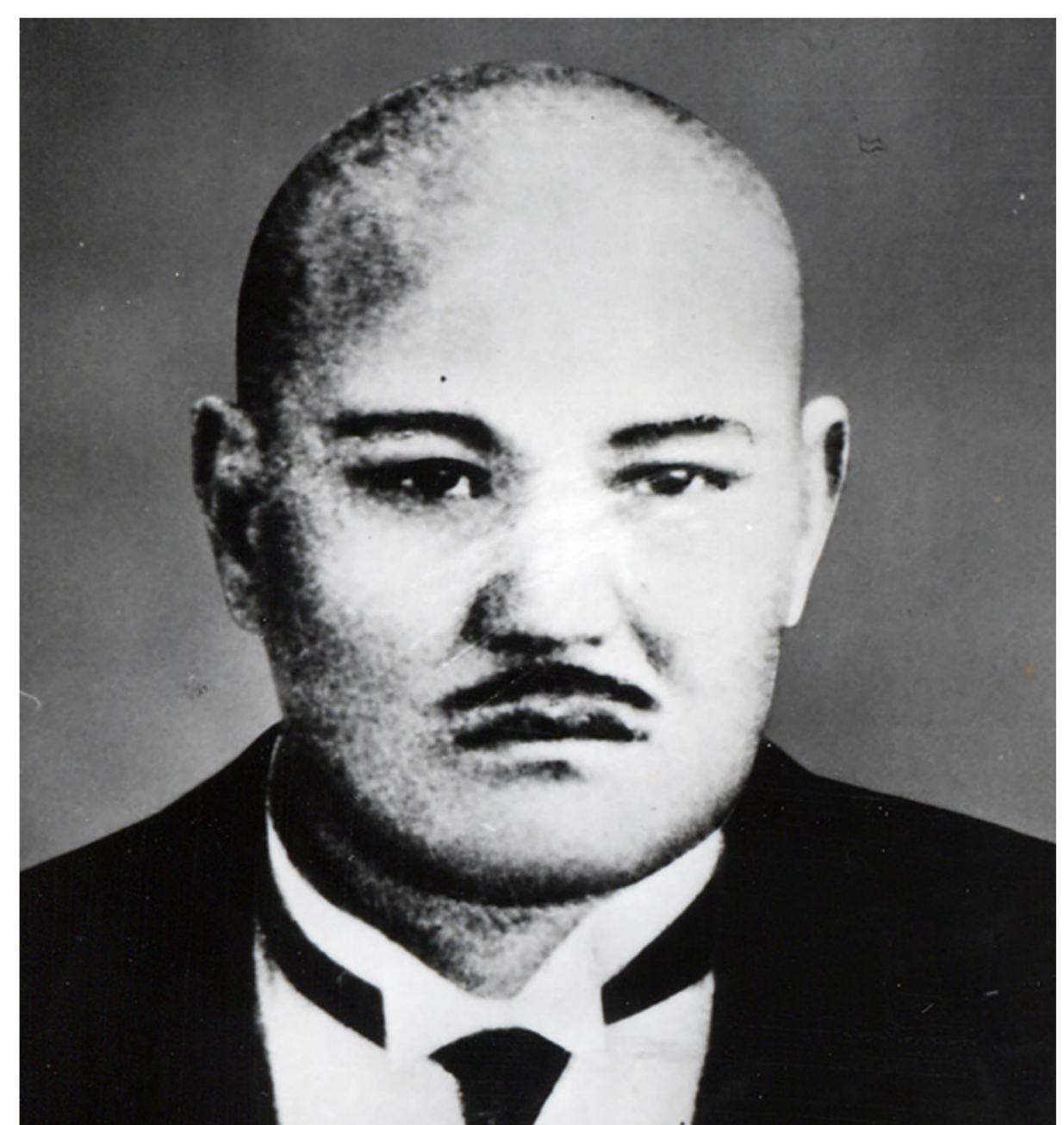
このような状況の中、1945年（昭和20年）12月1日、<sup>あん どう いし すけ</sup>安藤石典根室町長は、連合国最高司令官マッカーサー元帥に対し「北方領土を米軍の保障占領下に置いて治安の回復を図って欲しい」との陳情を行いました。これが北方領土返還要求運動の始まりとされています。

根室で起こった北方領土返還要求運動はやがて北海道へ、更に全国へと広がっていきました。



安藤町長がマッカーサー元帥に宛てた陳情書  
写真提供：根室市

北方領土返還要求運動は  
こうやって始まったのね。



安藤石典  
写真提供：根室市



## 北方領土返還要求運動について

北方領土返還要求運動は、「北方四島の返還を実現させる」との日本国民の悲願を達成するため、全国には返還要求運動を推進する都道府県民会議や北方領土教育を推進する教育者会議が精力的に活動を行っています。

### 北方領土返還要求運動都道府県民会議

都道府県民会議は、青年、婦人、労働、経済団体、行政機関等により構成され、大会、講演会、パネル展、街頭署名活動などを官民一体となっ  
て行っています。



パネル展・署名活動

### 北方領土問題都道府県教育者会議

都道府県教育者会議は、社会科の教師を中心に社会科教育研究会会員、学校長、教育委員会等により構成され、北方領土授業の実践、作文コンクール、巡回パネル展、北方領土教材・資料の作成などを行っています。



青少年交流会



授業研究会

### 北方領土豆知識

#### 2月7日は「北方領土の日」

政府は1981年(昭和56年)の閣議了解により、毎年2月7日を「北方領土の日」にすることを決めました。この日は、日露両国が平和裏に<sup>えとろふとう</sup>択捉島とウルップ島の間  
に国境を定めた歴史的な意義を持つ日です。



みんなも  
参加してくれると  
うれしいわ!



# 若い世代への運動の継承

北方領土返還要求運動を若い世代に確実に引き継いでもらうため、青少年、社会科教師や教育委員会関係者に対する研修事業等を行っています。

また、北方領土問題についてSNSやWEBサイトで情報発信を行っています。

## 若い世代に対する取組



ゼミナール



スピーチコンテスト

## 教育関係者に対する働きかけ



教育指導者現地研修会



教育委員会関係者現地研修会

## 北方領土問題についてSNS・WEBサイトで発信中！



「エリカちゃん」 X

[https://x.com/hoppou\\_erika](https://x.com/hoppou_erika)



「エリオくん」 X

[https://x.com/hoppou\\_erio](https://x.com/hoppou_erio)



「エリカちゃん」 Facebook

<https://www.facebook.com/hoppouryoudo.erika>



独立行政法人北方領土問題対策協会  
YouTube

<https://www.youtube.com/@独立行政法人北方領土>



「エリカちゃん」 Instagram

[https://www.instagram.com/hoppou\\_erika/](https://www.instagram.com/hoppou_erika/)



独立行政法人北方領土問題対策協会  
WEBサイト

<https://www.hoppou.go.jp/>

## 北方四島への訪問等

日本国民がロシアの発給する査証（ビザ）を取得して北方四島に入域することは、北方領土においてあたかもロシア側の「管轄権」に服したかのごとき行為であり、北方領土問題に対する我が国の立場と相容れず、容認できません。

このため政府は閣議了解により、北方領土問題の解決までの間、日本国民による北方領土訪問について自粛を求めています。特例として以下の訪問、交流等の枠組があります。

### 北方四島交流（「いわゆるビザなし交流」）

北方領土問題解決までの間、相互理解の増進を図り、領土問題の解決に寄与することを目的として、旅券（パスポート）・査証なしで、日本人と北方四島在住ロシア人との間の交流を実施してきました。



訪問事業



受入事業

### 北方墓参・自由訪問

先祖の墓をお参りしたい、という元島民の方々の切なる願いに沿い人道的な見地から旅券・査証なしで行う「北方墓参」や、お墓参りのほか元島民や祖先がかつて住んでいた居住地跡や学校などを散策することができる「自由訪問」を実施してきました。



北方墓参

### 北方四島交流、北方墓参及び自由訪問の現状

北方四島交流、北方墓参及び自由訪問については、新型コロナウイルス感染症の影響やロシアによるウクライナ侵略の影響を受けた日露関係の状況等により、2020年（令和2年）度以降実施できていません。

これらの事業の再開は、日露関係における最優先事項の一つです。御高齢となられた元島民の方々の切実なお気持ちにお応えすべく、日本政府は、ロシア側に対し、今は特に人道的な問題である北方墓参に重点を置いて、事業の再開を引き続き強く求めています。